

# 宗谷の状況及び学力向上策

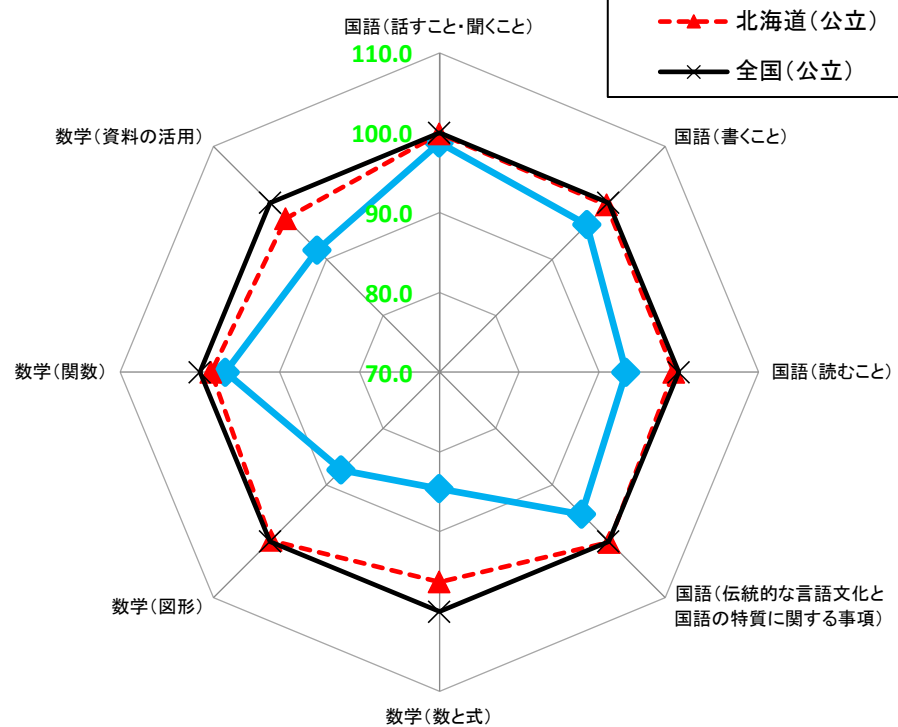
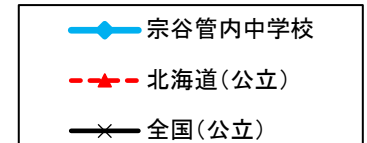
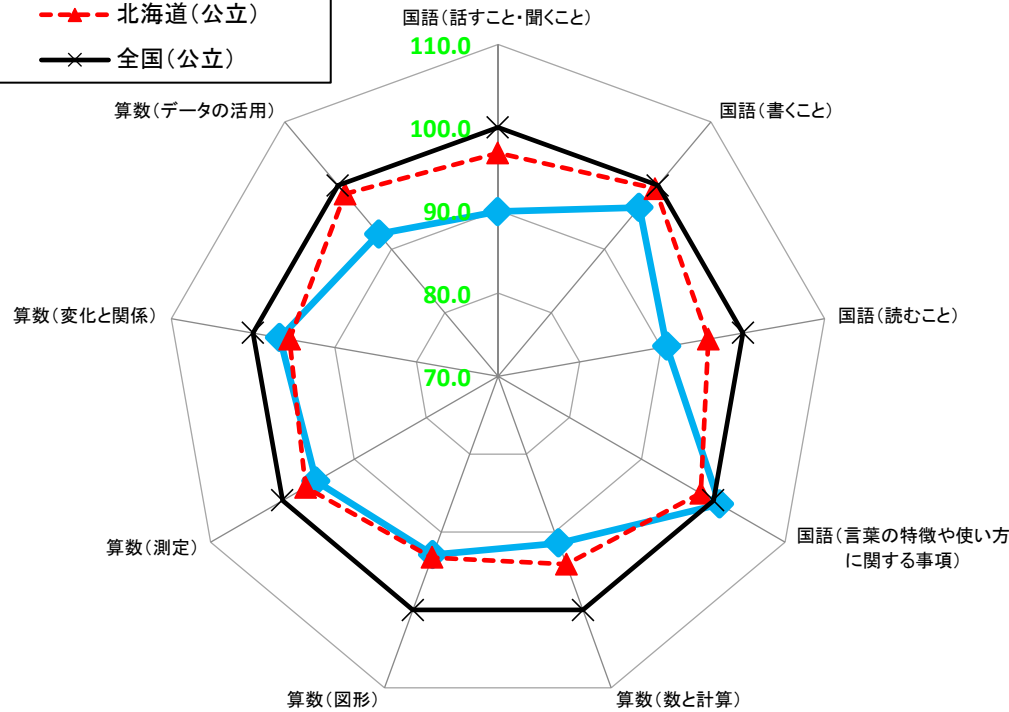
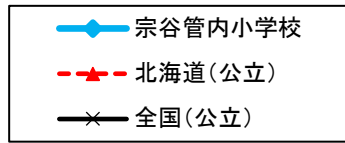
(小学校数: 35校、児童数: 417人) (中学校数: 22校、生徒数: 455人)

## 小学校

【教科全体の状況】

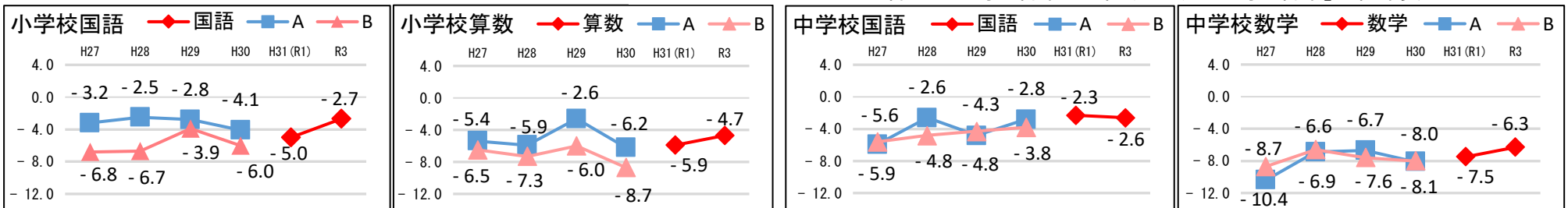
平均正答率	小学校国語	小学校算数	中学校国語	中学校数学
宗谷	62[62.0]	66[65.5]	62[62.0]	51[50.9]
全国	65[64.7]	70[70.2]	65[64.6]	57[57.2]

## 中学校



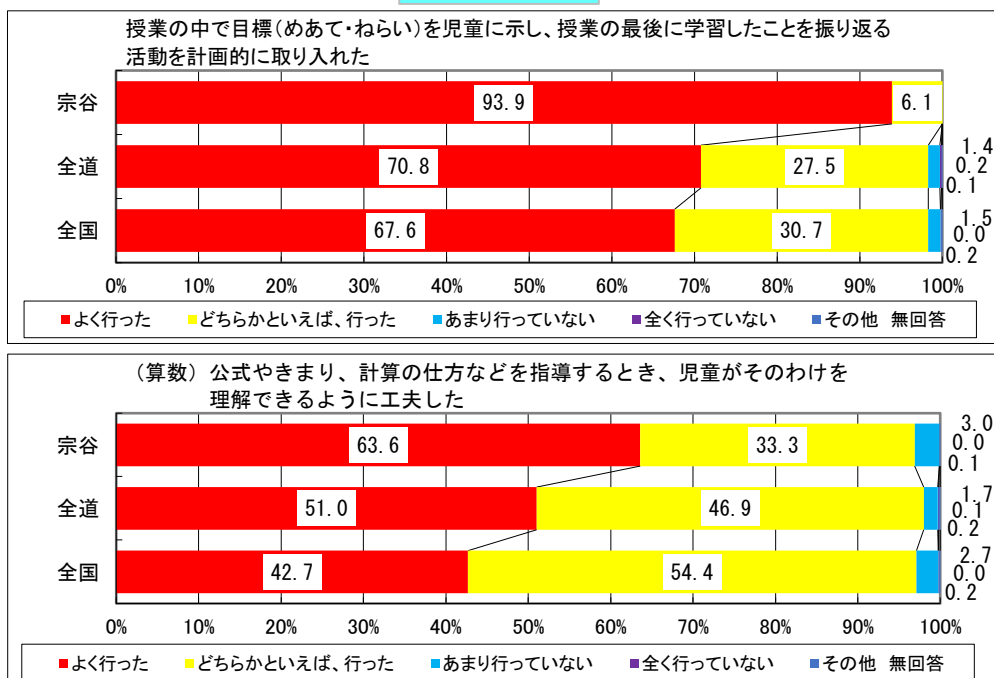
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したもの(管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

【平均正答率の推移】 「管内の平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の経年変化

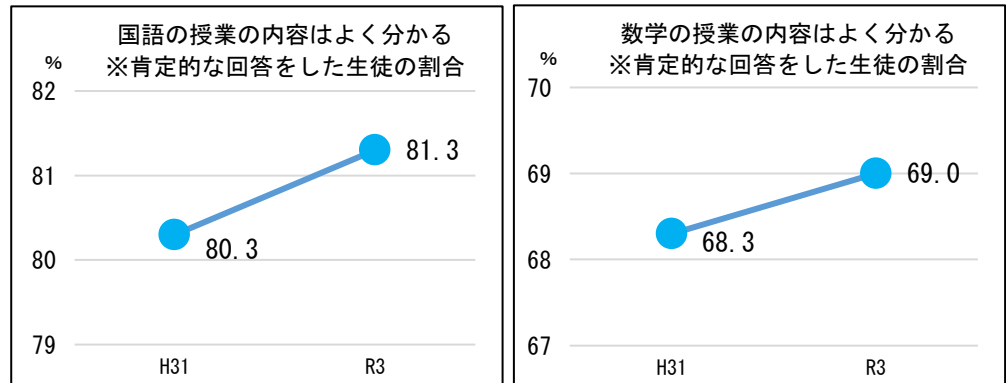
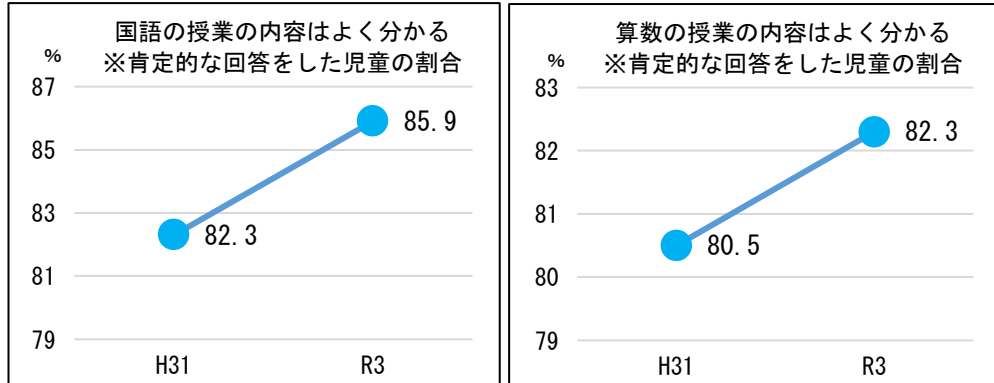
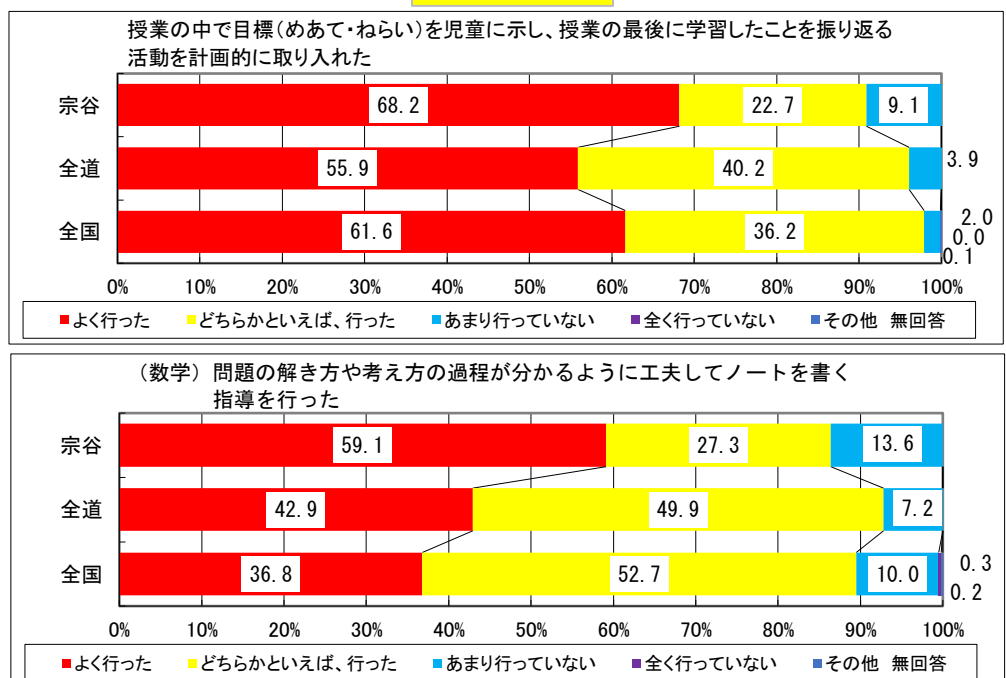


## 【質問紙の状況】

### 小学校



### 中学校



## 【上記結果の考えられる要因の分析】

### 小学校

管内の多くの小学校において、授業の中で目標(めあて・ねらい)を児童に示し、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れたことにより、国語の授業の内容はよく分かる」と肯定的に回答した児童の割合が高くなり、「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域が全国を上回ったと考えられる。

管内の多くの小学校において、算数の授業で、公式やきまり、計算の仕方などを指導するとき、児童がそのわけを理解できるように工夫したことにより、算数の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が高くなり、「変化と関係」の領域が全国に最も近付いたと考えられる。

### 中学校

管内の多くの中学校において、授業の中で目標(めあて・ねらい)を生徒に示し、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れたことにより、国語の授業の内容はよく分かる」と肯定的に回答した生徒の割合が高くなり、「話すこと・聞くこと」の領域が全国に最も近付いたと考えられる。

管内の多くの中学校において、数学の授業で、問題の解き方や考え方の過程が分かるように工夫してノートを書く指導を行ったことにより、数学の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が高くなり、「関数」の領域が全国に最も近付いたと考えられる。

【宗谷の学力向上策】 については、次ページの学力向上の取組を参照ください。

# 宗谷管内における学力向上の取組

## 1. 管内課題と重点的な改善策

### (1) 検証改善サイクルの確立

- 学力に関する客観的な指標に基づく検証改善サイクルの確立に課題があることから、管理職のリーダーシップにより、短期的な検証改善サイクルを確立する必要がある。
- 組織力強化会議を早期に実施し、学力向上の意義や取組の共通理解を図るとともに、管理職のリーダーシップによる校内の学力向上の組織体制の確立について指導助言を行う。
- 定期的に校長・教頭研修を実施し、各学校の検証改善サイクルの取組を把握するとともに、ヒアリング等による学力向上に係る取組内容を適宜共有する。

### (2) 授業改善の推進

- 「授業の内容はよく分かる」と回答した児童生徒の割合が5割以下であることから、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善を行うとともに、全国学力・学習状況調査の質問紙調査を活用した検証の必要がある。
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善について、支援の必要な学校に対し、早期からの複数回の学校訪問を実施し、児童生徒が必要な資質・能力を身に付けることができる授業づくりについて指導助言を行う。
- 「ほっかいどうチャレンジテスト」及び局作成のサポート問題等の結果を集計・分析し、授業改善への具体的な方策や下位層の児童生徒への手立て等を提供するとともに、全国学力・学習状況調査の結果公表後、管内課題の解決に向けたオンライン研修等を実施する。

### (3) 学習習慣、生活習慣の確立

- 学習習慣が十分に定着していない児童生徒が5割以上おり、学校の学力向上の取組や成果、改善策等が保護者に十分伝わっていないことから、地域と連携した学びの環境づくりを推進する必要がある。
- 学力向上推進会議等を通じて、地域の産業、経済団体等の関係者との育成を目指す姿の共有を行うとともに、学校への支援体制を整備する。
- PTAや社会教育事業等と連携を図り、保護者・地域住民を対象とした学びの機会を拡充する。

## 2. 具体的な取組

月	(1)検証改善サイクルの確立	(2)授業改善の推進	(3)学習習慣、生活習慣の確立
	学力保障に向けて訪問が必要と判断した学校への複数回の訪問及び要請訪問（Eサポート）、指定事業指定校等訪問（通年）	<b>【学力向上「Sサポート」の取組の推進】</b> 「チャレンジテスト」の実施→結果分析・改善方策の提示→授業改善等の取組（指導助言）→「Sサポート問題」等による確認 全国学力・学習状況調査の質問紙調査を活用した学習状況等の把握及び取組の推進・改善（5月～）	保護者を対象とした研修会の開催（通年）
10	・第2回管内校長研修会 ・組織力強化会議②（対象：全ての学校の学力向上担当者）		・ICT機器の活用等を含む家庭学習の効果的な取組に関する実践事例の普及
11	・ヒアリング等を踏まえた取組の状況の把握及び指導助言（校長会）		
12	・ヒアリング等を踏まえた指導助言（管内校長・教頭会議）	・校内研究等に係るオンライン研修（全ての学校の校内研究担当者等）	・放課後、長期休業中における市町村の学習支援の取組
1	・各市町村の学力向上に向けた取組の成果や課題の把握及び指導助言（委員会訪問） ・「宗谷の学力向上プラン」の最終評価（対象：学校・保護者・児童生徒）		・家庭学習の効果的な取組に関する実践事例の普及
2	・第3回宗谷管内学力向上推進会議（成果や課題、次年度の取組の方向性の共有）		
3	・次年度の学力向上施策の説明（校長会議等）	・教育局の学力向上に向けた取組の検証及び次年度の取組の方向性の検討	

## 3. 取組の評価

### (1)検証改善サイクルの確立

- 宗谷管内子どもの学力向上「Sサポート」の平均正答率
  - ・現状 小…国語68%、算数46%  
中…国語58%、数学26%
  - ・目標 小…75%、中…75%
- [9月中間評価]
- ・達成値 小…国語81%、算数67%  
中…国語78%、数学50%

※1月に総括評価を実施予定

### (2)授業改善の推進

- 国語の授業は分かりやすいと回答した小5と中2の割合（小・中…100%）
  - ・現状 小…47%、中…44%
  - ・目標 小…100%、中…100%
- [9月中間評価]
- ・達成値 小…43%、中…47%
- 算数・数学の授業は分かりやすいと回答した小5と中2の割合
  - ・現状 小…49%、中…44%
  - ・目標 小…100%、中…100%
  - ・達成値 小…46%、中…49%

※1月に総括評価を実施予定

### (3)学習習慣、生活習慣の確立

- 学校の授業以外（放課後学習等を含めて）で1日当たり「家庭学習を学年×10分+10分以上」と回答した児童の割合、「家庭学習を90分以上する」と回答した生徒の割合（小・中…100%）
  - ・現状 小…49%、中…31%
  - ・目標 小…100%、中…100%
- [9月中間評価]
- ・達成値 小…45%、中…27%
- 学校の学力向上の取組や成果、改善策はよく分かる」と回答した保護者の割合（100%）
  - ・現状 小…42%、中…26%
  - ・目標 小…100%、中…100%
- [9月中間評価]
- ・達成値 小…40%、中…24%

※1月に総括評価を実施予定

## 4. 改善点

### (1) 検証改善サイクルの確立

- 学校訪問等における第2回組織力強化会議後の各学校の検証改善サイクルの状況の把握、助言
- チャレンジテスト等の結果分析に基づく各学校の改善状況の把握
- 定期的な校長・教頭研修の実施

### (2) 授業改善の推進

- 算数・数学におけるオンライン研修等での授業モデルの提示
- 各種指定事業の指定校と連携した授業改善の取組の発信

### (3) 学習習慣、生活習慣の確立

- 地域の産業、経済団体等の関係者との育成を目指す姿の共有及び学校への支援体制の整備
- 保護者・地域住民を対象とした学びの機会を実施